

【がん種】 [大腸癌](#)
【レジメン名】 CapeOX+Bmab
【登録番号】 160519
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 中等度:エルブラット、軽度:カペシタビン、最小度:ペバシズマブ
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):エルブラット(漏出時の冷却禁止)、ノンビンカント(非壊死性):ペバシズマブ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、アレルギー反応、疲労、間質性肺炎、高血圧、蛋白尿、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、注射部位反応、手掌・足底発赤知覚不全症候群
【必要な検査】 編集
【根拠論文】 J Clin Oncol 26:2006-2012, 2008. J Clin Oncol 26:2013-2019, 2008.

【点滴の時間】 [day1]初回5時間, 2回目4時間30分, 3回目~4時間
【費用】 編集
【その他】 対象患者: 大きな手術後から28日以上経過している, 2.5mL以上の鮮血の喀血がない.
 カペシタビン投与量: BSA<1.36m²: 2400mg/日, 1.36m²≤BSA<1.66m²: 3000mg/日, 1.66m²≤BSA<1.96m²: 3600mg/日, BSA≥1.96m²: 4200mg/日.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日									
					1	2	3	...	15	...	21			
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○									
2	生理食塩液 100mL アロキン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分	○									
3	生理食塩液 100mL ペバシズマブBS点滴静注「ファイザー」 初回90分、2回目1時間、3回目~30分	1 B 7.5 mg/kg	側管		○									
4	5%ブドウ糖液 500mL エルブラット点滴静注液	1 B 130 mg/m ²	側管	2時間	○									
5	カペシタビン錠「日医工」 1日目の夕~15日目の朝まで	2000 mg/m ² /日	内服	1日2回朝夕食後	△	○	○	○	△					
6	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝昼食後		○	○							